

サロン3x_50分セミナーその01

新世代にY/Z世代と働くということ
～ feat. byほなこう氏～

平原憲道
2022/04/23



3分間瞑想



姿勢で気にして欲しいこと：

- 1) 首・肩の力を抜き「登頂から糸」を
- 2) 背筋を伸ばす → 「腰骨を立てる」
- 3) 腰から上向きに「背骨を組み上げる」
- 4) あごは引き「ピンポン玉」を挟む感じ
- 5) 息は鼻から吸って鼻から出す
- 6) 手はももの上に(上向き or 下向き)
- 7) 目はつぶるか「半眼」で
- 8) 意識は「鼻を通る呼気と吸気に」

ビジネスに導入されたマインドフルネス

- Googleの「Search Inside Yourself」が火付け役
- 最重要人物：チャディー・メン・タン
- 2000年(彼のGoogle入社年)～
- happinessやwell-beingの文脈で
- よりハードコアな瞑想を行う起業家も



Jack Dorsey @Twitter は何度目かの
10日間のヴィパッサナー瞑想合宿

- この流れが拡大し、多くの「ビジネス・マインドフルネス」が誕生
- positive psychology
とも連動



瞑想の社会実装：マインドフルネス実践法の採用企業例



Y/Z世代には
「Why?」 leadership
しか勝たん

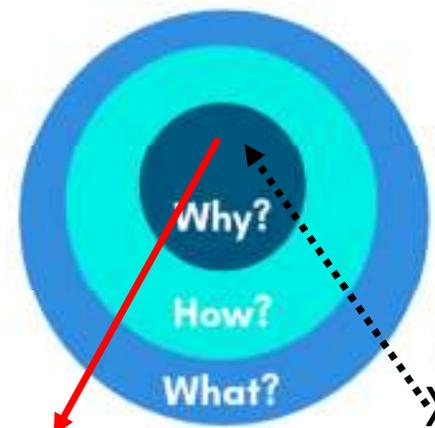


おっさんの「自己実現」の指南はうざがられる...



「開示」して選んでもらう：vision型リーダーシップ

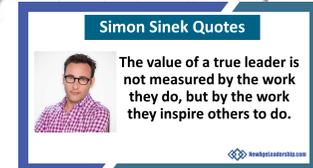
「Golden Circle」



Why = The Purpose
What is your cause? What do you believe?

How = The Process
Specific actions taken to realize Why.

What = The Result
What do you do? The result of Why. Proof



Z世代の優秀人材の獲得法
に繋がっていく

「psychological safety/心理的安全性」の研究



心理的安全性とは、職場がAmy Edmondson言うところの「相互依存的にリスクが取れる」環境のことを言う。このような職場で人々は、声を上げることができ、間違いを包み隠さずに話せ、助けを求めることができる。

心理的安全性について

Google社のチームの効果性に影響する因子

Google社 re:Work 2019		
1	心理的安全性	チームメンバーが互いに意見を言える環境があり、意見を言っても罰せられないと感じることがある
2	相互信頼	チームのメンバーが他のメンバーの仕事に興味があり、チームで成功するために助け合っている
3	構造と明確さ	チームの役割、計画、目標が明確になっている
4	仕事の意味	チームのメンバーは仕事自体に興味があると感じている
5	インパクト	チームのメンバーは自分の仕事に、意義があり、良い変化を生むことができている

1. メンバーが安心してパフォーマンスを上げる
2. イノベーションや改善が生まれる
3. エンployee・エクスペリエンスが向上する

全部読むならこちら: <https://rework.withgoogle.com/print/guides/5721312655835136/>

エンジニア業界でも「creative」>「伝統的スキル」

Mark Zuckerberg: Most future jobs will be more 'creative' than 'traditional labor or service'



これからのleadershipは「率いる」だけではなく...



Self-reflectionは経営者の中でも大事な能力だと言われ始めています。なぜこの事業をするのかなぜ私がするのかというポイントですね。それにしても、

Empathy, communication, adaptability, emotional intelligence, compassion. These are all skills you need to thrive in the workplace and become a great leader.

などと、HBRが毎日のように書く日が来るなんて想像もしていませんでした。確かに、基本的な算数と計算をAIがやる以上、リーダーに求められるものは人間的な共感能力と認知能力です。

好む好まざるとに拘わらず...

現代ある典型的な702の職業のうち、**47%**はAIに置換される(マイケル・オズボーン博士・オックスフォード大学・2014)

→ 「将来何になりたい?」という質問の空虚さ!

2011年度にアメリカの小学校に入学した子どものうち**65%**は、大学卒業時に今はまだ存在していない職業につく(キャシー・デビッドソン教授・デューク大学・2011)

→ 「全員がイノベーター」にならざるを得ない世界

